



社会福祉法人さざんか会法人広報誌『おーぷん第83号 2020 冬』

発行：さざんか会法人本部/船橋市行田 2-8-1/☎047-404-1135

編集：おーぷん編集委員会/けいよう/船橋市二和西 5-10-1/☎047-411-8177

おーぷん 83 号目次

P 1 「知っていただく」
ということ
さざんか会 理事長 宮代隆治

P 3 北総の里だより
・北総育成園
・笹川なすな工房

P 5 各事業所冬だより
・けいよう
・のまる
・カメラアハウス
・ゆたか福祉苑
・とらのこキッズ
・さざんかキッズ
・DD・のまのまホームズ
・魔法のランプ

P 10 合同研修リポート

P 11 特集ページ
『今年の漢字—文字！』

P 12 後援会だより
『さざんか会後援会主催
講演会報告』

「知っていただく」ということ

社会福祉法人さざんか会 理事長 宮代 隆治

まずは、明けましておめでとう
ございます。皆様、心安らかに
新年を迎えられましたでしょう
か。

昨年もそうでしたが文字通り
の天変地異、大変な災害が私た
ちの身近に起きてしまい、被害
を被られた皆様には心からお見
舞いを申し上げます。お見舞
い「おめでとうございます」の言
葉が虚ろに響く方々のいらっし

やることも忘れてはならないよ
うです。

異常な気象について、地球の
温暖化等が喧伝される中、豊か
さや便利さをひたすら追い求め
た私たちの生活、その欲求を一
度立ち止まって再考してみる、
そんな啓示を受けているように
も感じています。

さて、昨年11月15日発行の
「広報ふなばし」をご覧いただき

ましたか。一面に大きく「ミキ
ミキホーム」の写真が掲載され
ました。入居者さんの夕食風景
が写っています。

12月3日から一週間は「障害
者週間」であり、これは障害者
基本法に定められたものです。
この時期には障がい或いは障が
い者に特化したテーマで紙面が
飾られます。今年は当法人運営

の「ミキミキホーム」が取り上げられた次第です。

市の障害福祉課より依頼を受け、当法人のグループホームを取材して、是非広報に載せたい。ついでには、と広報課も交え様々注文を受け、ならばと白羽の矢が「ミキミキホーム」に立ちました。

「ミキミキホーム」は平成24年4月にオープンした男性6名のホームです。比較的軽い障がいの方たちが入居していて、企業で働く方や就労系の事業所で汗を流す方々で占められます。2面には入居者さんが企業で働く姿や世話人さんのコメント、そして昨年10月に設立されたグループホーム連絡協議会の肩書で、拙文も掲載されています。



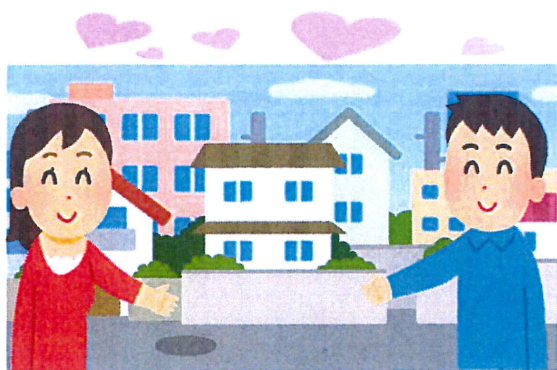
広報ひなばし 令和元年 11月 15日号

「施設コンフリクト」という言葉を耳にされたことはありませんか。「コンフリクト」とは「衝突・不一致」や「争い」等と訳されるようです。つまり、障がい施設が建設されるときに、主に地元住民による反対、そしてそのような一連の運動を称して「施設コンフリクト」と表されます。町内に障がい者施設建設の計画が持ち上がった。とんでもないこと。「若い女性が一人歩きできなくなる」、「地価が下がる」、「何をされるかわからない」等々一気に不安が渦巻き、絶対反対の声が轟きます。最近はグループホームの建設を巡り、度々マスコミでも取り上げられました。川崎市では精神障がいの方々用のグループホーム建設を巡り反対運動が。愛媛県や東京都、京都府でもありました。

続けられますように、と。計画は進み、明日はいよいよ地鎮祭となったときに、町内から建設反対の声が上がりました。そして、着工が見送られました。そこから反対住民に対する説明、説得が始まりました。行政もお手伝いしてくれました。そこに住まう予定の障がい者のことやグループホームのシステム等が丁寧に話されました。ある時、その説明会に参加していた住民の中に、入居予定の障がい者の同級生がいました。話を聞いていたその同級生は言いました。「〇〇君は、決して変な奴じゃないよ。僕たちと同じだよ」と。一気に会場の雰囲気が変わったそうです。そして、大勢は建設容認へと向かいました。

知らないこと、触れないこと、見慣れないこと、聞こえないこと等から不安や疑念、そして嫌悪や拒絶感の生じることは多々あります。

一人でも多くの市民の皆様に「広報ひなばし」をご覧いただき、船橋の街中のすぐ隣で障がいのある人たちの生活が営まれ、それは何ら特異な事でもなく、普通の暮らしであることを知っていただきたいものです。牛久市の出来事は、心の温まるとても嬉しいお話でした。



北総の里だより

『地域に支えられて』

北総育成園 地域環境委員会

支援主任 斎藤 到

2019年も皆さんにご協力を頂きながら園内外の環境整備を行い、職員や利用者と一緒に地域の色んな行事への参加および協力を通じて、地域とのつながりを大切に活動してきました。

環境整備では今期も土日の日課や職員会議の後に、環境整備デイを組んで男子職員を中心に草刈り機を回してきました。園内をはじめ、須賀山広場や須賀山城址、野の花広場、イーハトーブと草刈りを行い、管理エリアは草に負けることなくきれいな環境を保つことができていたと思います。加えて、県道の草刈りも定期的に行いましたが、草刈りの後は空き缶などのごみも多

く、毎回そのごみ拾いも行ってきました。特に男性職員はその活動を通して、草刈り技術の力量を上げ、地域の皆さんに北総の活動を知っていただく大切な一翼を担って頂きました。



地元日枝神社の草刈り

10月6日(日)の日枝神社の清掃活動は、高橋さん遠藤さん斎藤の3名で参加しました。地域の皆さんから北総への感謝の言葉を沢山頂きました。北総がある笹川根方は高齢者が多くなり過疎地域です。特に人員的な面で祭りなど地域行事を行う

ことが難しくなっています。そこに北総職員の若い力が少しでもお役に立てればと参加しています。またそれは北総の職員にとっても、大変ありがたい地域活動の経験です。昭和49年に北総がこの地にお世話になって45年の北総を支えてくれています。

地域行事では、今年も大木戸楽友会の皆さんから8月21日(水)に「出羽の海部屋夏合宿(高木課長責任)・12月1日(日)はクリスマス会(高橋主任責任)と招待を頂きました。大相撲合宿では、夏場所優勝力士の御嶽海とお酒を飲みかわし、クリスマス会では楽友会や子供会の皆さんとおいしい食事やお酒を頂き、ゲームに参加したりと楽しい時間を過ごしました。利用者の福田克三さんが、お得意の安来節、どじょうすくいを披露し、大人も子供も大喜びで会場は大盛り上がりでした。また、根方区が今年祭りの当番区であり、北総も秋季大祭の準備片付けと祭り当日の手伝いを行ってきました。12月の大門班とのお付き合いでは、山本村長と斎藤が出席しました。参加は8軒と年々

少なくなっていますが、45年お世話になった大切なお付き合いです。

北総育成園の利用者も歳を取った方が多くなっていますが、これからも職員利用者を合わせて、地元との繋がりを大切に具体的に活動していきたいと思えます。普段からの挨拶や丁寧な車の運転を心掛け、利用者・職員顔を覚えていただくことも大切です。地域環境委員会は、そうした北総の大切な事業です。今後も、地域の皆さんに支えられ、地域と共に、頑張っていきたいと思えます。



7月 地域根方区の祭り

笹川なすな工房

2019年 秋のイベント販売

支援員 高野明夏

笹川なすな工房は今年度、創立十六周年を迎えこれまでの事業である就労継続B型と新たに生活介護との二本柱で運営をしてきました。そして気が付けばもう季節は冬・・・まだ残暑が残る9月下旬から11月下旬までの2か月間は地元東庄町をはじめ近隣市町村でのイベント販売や特別支援学校の文化祭があり販売最盛期となります。今年は台風15号の影響で開催が中止となるイベントもありましたが、10月に入り毎週末ほどの作業班も販売準備に追われる毎日でした。イベント販売の時期は週末の販売準備に加えて、通常の販売分、納品分の製造と学校給食の注文対応にと作業内容も盛り沢山です。製造、納品、販売と作業に追われる中、利用者さん一人ひとりの頑張りがとても現れます。個々の出来る事や得意分野を活かし工程を細分化する事で力を

付け、その作業工程を繰り返し行う事で自信をつけ成果に繋がっていくことです。

なかでも11月3日は地元東庄町と旧山田町(現香取市)のふれあい祭りの2場面の大きなイベント販売へ参加させていただき、2場面で販売するパンや加工品、ジャムの数量は数えきれなく年間を通して「一番忙しい日」と位置付けられています。販売の際も保護者の皆さんへお手伝いの依頼をさせて頂きました。利用者さん、保護者ボランティアをはじめ、施設長、支援員、事務員、パート職員、調理員とで製造から販売に分かれ、笹川なすな工房総出で準備をしてこの日に臨みます。また、就職し笹川なすな工房を巣立っていったEさんからも「お手伝いできる事があれば仕事が休みなのでお手伝いしていきます！」と電話をくれ当日は洗い物や追加便を届ける役割を果たしてくれました。本人はもちろんご家族の方もいつも笹川なすな工房を気にかけてくれ有難い限りです。今年はいつになく天気予報と睨めっこでした。今までに雨に降られた事が無い11月3日。「製造数の調整をした

ほうが良いのではないか・・・？」「雨から曇りマークに変わったからいつも通りの製造数でいいか？」と頭を悩ましながらも当日は天気も味方をしてくれました。作っても作っても、袋入れをして販売担当から電話が入り「次のパンはいつきますか？」お客さん達が待っています！「有難い電話。追加便のピストンを繰り返しながら「次は〇〇時に追加便を出します！」の工房内に響く職員の声掛け。それに応える利用者さんの袋入れや袋綴じのスピードは上がります。どんなに忙しい状況でも「はい！わかりました！」と元気に応えてくれる利用者さんの声は職員を奮い立たせてくれます。限られた時間の中で保護者の皆さんも休む間がなくても声を出しお客様を呼び込み、会計に袋入れと協力して下さる姿には感謝の言葉しかありません。その協力もあり2場面のイベント販売は大盛況で終えられました。売り上げの合計金額は67万円と過去最高金額を達成出来、終了時には皆の顔は疲労感が表れていますが、全員が同じ目標に向かって進む姿には胸を打たれま

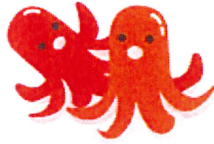
す。私がいつも思う事は、この人達がいなければ私たち職員の仕事は成り立たない事。将来の目標は一人ひとり違っても今出来る事を大切に生き生きとした表情で笹川なすな工房で過ごし、その先には就労へと導く事や出来る事を一つでも増やしていくことなのだと思います。今後も利用者の皆さんに寄り添い、沢山の方に支えられている事への感謝の気持ちを忘れず、私自身これからの仕事に精進していきたいです。



けいよう

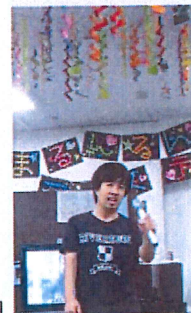


昨年の10月・11月、3日間に分けてピクニックへ行きました！
皆さん出発前からわくわくされ、バスの中から賑やかです。けい
ように戻ってきた表情からも楽しかった様子が伝わってきまし
た。



晴天時は、千葉市にある「三陽メ
ディアフラワーミュージアム」へ。
外のウッドデッキで食べるお弁当は
美味しさ倍増です。

雨天時は市川市にある「現代産業
科学館」へ。体験できるコーナーで
は恐る恐る挑戦する姿も見られまし
た。



く冬だよりく
10月に入っても気温
が高く、暑い日が多かっ
たですね。のまるでは令
和最初の「のまるんるん
フェスタ」を日程ごおり、
行うことが出来ました。
今回の目玉は★カラオ
ケ大会★です。機械をレ
ンタルし、フル活用しま
した。
BGMとしても使用す
ることができ、とても便
利でした！
選曲もバッチリで大盛
り上がりでした。毎年恒
例のスタッフによる出し
物は「パブリカダンス」
です。利用者さんも誘っ
て楽しく踊れました。

カメラリアハウス

★毎年恒例！バーベキュー大会！

秋の行事と言えば、カメラリアハウスでは毎年恒例、バーベキュー大会です！お肉に、野菜、焼きそばなど美味しいメニューがたくさん焼き上がりいい匂い♪天候にも恵まれ、皆さん楽しまれています。食後には、ビーチバレーで体をいっぱい動かし楽しみました♪

★C・Dグループ一泊旅行♪

先日11月18、19日にC・Dグループの一泊旅行がありました。今年、神奈川県と千葉県（房総）に行ってきました！

一日目は、八景島シーパラダイスに行き、イルカのショーなどを楽しみました。その日は鴨川のホテル三日月に泊まり、大きなお風呂や、豪華な夕食を満喫。
二日目は千葉県君津市のはちみつ工房に行き、はちみつが出来る工程を見学しました。
二日間ともお天気に恵まれ楽しく過ごせました！



ゆたか福祉苑



令和2年になりましたね。皆様はどのような年にしていきたいでしょうか。新たな気持ちで、私も良い年になるように頑張ってください。

昨年の秋には恒例の秋祭りを行いました。台風の影響で開催が危ぶまれましたが、延期をさせて頂いたり、内容を変更することによって無事に行う事が出来ました。音楽に合わせてタオルを使った体をほぐす体操『来苑者の方と一緒に、新人職員の『トランプットやピアノ演奏』、『T兄弟やAKBのモノマネ』、『明日があるさの替え歌』など、とても盛り山な内容でした。笑顔で楽しまれてる姿を沢山見ることが出来ました。みんなで楽しめた一日だったのではないのでしょうか。昨年来られなかった方も、今年の秋祭りには是非、ご来苑下さい。お待ちしております♪

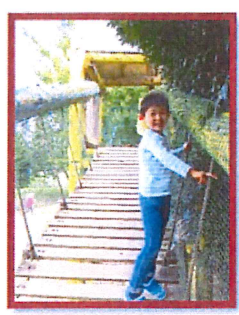
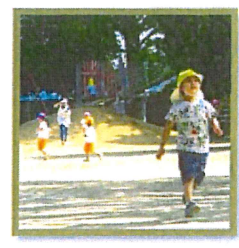


とらのこキッズ 秋の思い出



とらのこキッズの秋は、お出掛けの季節でした♪この秋の思い出をご紹介します！

10月7日は、近隣の幼稚園へ遊びに行ってきました。幼稚園に到着すると、広い園庭に大きな遊具がたくさんあり、大興奮のお子さんたち！幼稚園のお子さんたちも一緒に、園庭でたくさん体を動かして遊び、とても楽しい時間となりました。



10月16日・18日・21日は、クラスごとに行くお買い物散歩がありました。近隣のスーパーマーケットへ、園のワゴンに乗車して向かい、車内では、ずっとワクワクドキドキする姿が印象的でした！店内では、一人一つおやつを選び、レジでお金と交換する体験をしました。初めて体験するお子さんも保育者と一緒に行なっていました。購入したおやつは、午後の時間にみんなで机を囲んで食べました♪自分で選んだおやつを皆に紹介したりと、笑顔いっぱいでした☆



さざんかキッズ



ポカポカ陽気の次は真冬の寒さ・・・この秋は本当にめまぐるしく季節が移りましたね。11月に、ふなばし三番瀬海浜公園の環境科学館に行ってきた様子をお知らせします！



知的クラスは4日間に分けてバスに乗って行ってきました。はじめての経験にワクワク、やどかりに興味深々で触れたり、自分でデザインしたキャラクターをスクリーンに映して追いかけたりと、館内をめぐりっぱい楽しみました。晴れた日には展望台から富士山も見えました。雨でも十分大満足の日でした！



グループホーム

冬の寒さも本格的になってきましたね。今回はグループホーム「さざんか荘」での様子を少しではありますご紹介します。



さざんか荘は4人のうち3人が11月・12月生まれというんですよ。ささやかながら荘のみんなでその都度お祝いしました。

ケーキやプリンに生クリームやイチゴ、チョコ「シート」などでトッピング☆いつもは食後にデザートとしてヨーグルトを提供しています。誕生日は特別にちょっと豪華に用意してみました。

「今日は〇〇さんの誕生日のお祝いをしますよ〜」という声掛けに、皆さんうずうずした様子。スタッフがデザートを用意している間も楽しみに待っていらっしやいました。そしてみんなで「ハッピーバースデー♪」を歌い乾杯!「おめでとう」とみんなから言われ嬉しそうにされていました。デザートはあっという間に完食です!



このケーキ、苺がのっていて美味しそう♡



いつものデザートのヨーグルトも嬉しそうに召し上がって下さるのですが、みんなをお祝いして食べるデザートはやっぱり特別!?「おいしいねー」の一言や、目をキラキラさせて召し上がっている姿に、スタッフも「頑張っって飾りつけてよかった」と一安心です。

さざんか荘では、誕生日会後も数日間は「おめでとう」と言い合う日が続いていました。ささやかではありましたが皆さんが喜んで下さりよかったです☆



インフルエンザやノロウイルスなどが流行る時期になってきましたね。グループホームでも暖房器具をつけているので空気が乾燥してしまいます。1人が罹ってしまうとどうしても蔓延してしまうため、今の時期は特に注意が必要です。栄養のある食事と水分補給で身体を丈夫に!!日頃からの体調管理に気を付けていきたいと思えます。もちろん、利用者様だけでなく、スタッフも体調管理を心掛けないとですね。



魔法のランプ

新年明けましておめでとございませう。

早速ではありませんが、当事業所利用に際して、ご契約者の皆様にご不安な思いをお掛けしてしまっているようですのでこの場を借りてご説明をさせて頂きませう。

まずは業務縮小の件ですが、令和元年10月を以って、1名のスタッフが増員、1名のスタッフが退職し、併せて2名の減員となつてしまいました。しかし、異動したスタッフにおいては、週末は兼務という形でランプでも勤務しております。

次に、週末のサービス時間短縮のお願いの件ですが、利用者様のご意見や想いを無視して、時間短縮ということではなく、ご家族のご協力等で時間を短縮する事が可能であればお願いをしたいということとです。手紙に「例」とし

てお出しした表の時間に囚われ過ぎないようお願い申し上げます。

さて、最近のほっこりした出来事をお話したいと思います。

先日、以前ゆたか福祉苑で働いていたスタッフが、現在新鎌ヶ谷駅の傍で中華料理屋さんを経営されていてそこに月1回くらいペースで行かれています。そのペースに入りました。当時は私も一回僚として一緒に働いていました。当時からその方と中華屋のご主人との関係は、とても良く、言葉を交わすわけではないのですが、気持ちが通じ合っているように見えていました。当日、その中華屋さんに、お連れしましたら、いつも決まって座る席があるのですが、扉を開けると直ぐにその席に座り、ご主人に挨拶し注文をされます。お互い会話をしているのではないのですが、意識をされているのが伝わってきます。その餃子はそこら辺のチェーン店のものとは比べ物にならないくらい

美味しくくて、ご本人様も一皿ペロリと召し上がっていました。食べ終わると、会計を済ませて店を後にするのですが、ご主人が外まで出てきてくれて見送ってくれます。その時のご本人様は、さりげなく「さようなら」と言葉を残して去るのです。この2人の関係は、たとえ月1回しか会っていないなくても数10年経った今でも変わりませう。2人を見ていてとても感動いたしました。

私ももうこの仕事を始めて数10年経ちますがそのような関係を築き上げ、利用者の方から信頼されるようなスタッフを目指したいと心から思いました。(今更ですが…)

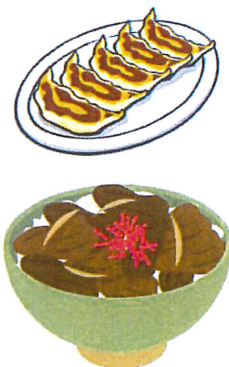
自分が感じたり、思ったりするのではなく、やはり他人が見て、そう感じて頂けるような支援ができるようにならないといけないと思ひます。

もう一つ、先日いつも同じ流れでサービスを実施する方の支援に入りました。いつものようにマ

クドナルドに行くものと思ひ込み、簡単に写真を見て頂き、確認しました。すると、写真がたくさん入っているご本人様の袋の中から牛丼が写っている写真を取り出して、アピールしてくれました。今までにない行動で、とても嬉しくて仕方がありませんでした。根気よく写真を見て頂く事を続けた結果、自らの選択肢を拓けられたのだと思ひました。

皆様も写真は見ないからと諦めないでください。まずは実物から試していき、徐々に写真へとスライドしていけば、きっといつかご本人様の選ぶという行為に繋がっていくのではないかと思ひます。

(山田)



(船橋圏内) 合同研修リポート

令和元年11月30日(土)ゆたか福祉苑において、今年度第3回法人内合同研修を実施しました。例年3回目は、支援の対象が児童の事業所と成人の事業所とで分かれ、それぞれの企画で実施されます。

今回、成人対象の合同研修では、事例に基づいて討議するグループディスカッションを行いました。7月の第2回研修では、船橋市手をつなぐ育成会のご協力をいただき、3名のご家族の方より、療育や教育の過程およびライフステージに応じて望まれる支援などの貴重なお話を伺いました。この研修が、情報共有の重要性、支援者間による方向性の確認や連携の大切さを見直す機会となり、今回の事例検討の企画へとつながりました。


5事業所からの参加者が6グループに分かれ事例検討を行いました。事例は各事業所代表の合同研修委員により数か月前か

ら準備し作成されたもので、この事例を用いて氷山モデルという考え方を基本に討議しました。氷山は、目に見えている水面上の部分よりも、実は水面下の見えない部分の方がはるかに大きいということになぞらえ、利用者様の支援にあたり、目に見える行動面ばかりに着目するのではなく、その方の背景(心理精神面や環境要因など)を含めた全体像を捉える必要があるという考え方です。


ディスカッションを通じて、利用者様の気持ちをより深く想像することや、見えない部分も角度を変えて見ようとすることで、利用者様の「強み」に気付いたりすることが解りました。そして、一人だと見える範囲が限られますが、皆で意見を交わすことで視野がどんどん広がっていくことも再確認できました。自然と事業所間の職員交流にもなり、参加者それぞれにとって有意義な時間となりました。




【職員感想】



クラス全体に何かを伝える際には、全員が分かり易いように絵カードや写真カードを使用していますが、言葉掛けでも伝わるお子さんもいる為、それぞれの発達段階に合わせた方法を意識したいと思いました。



年に2回という少ない研修なので、もっと回数が増えたらと思いました。また、外部からの新しい風が入ることで、気付けることが多くなると感じました。



これからも、お子さんの行動をしっかりとおアセスメントして、自分たちの支援がこれで良いのかと振り返りながら、お子さんたちに向き合っていきたいと思いました。

【感覚と運動の高次化理論を手がかりにした子ども理解と支援】
10月21日にさざんかキッズ、10月29日にとらのこキッズで、淑徳大学発達臨床研究センターの池畑美恵子先生による『感覚と運動の高次化理論を手がかりにした子ども理解と支援』についての研修を行いました。

感覚と運動の高次化理論で考えた4つの発達ステージ(一層:感覚段階、二層:知覚段階、三層:象徴化段階、四層:概念化段階)と、その発達段階に合わせた支援内容を、資料を基に私たちに分かり易いようにお話しして下さいました。今回学んだことを、実際の支援の中に取り入れていけるよう心掛けたいと思います。



今年の漢字一文字



ゆたか福祉苑

新

今年の抱負
利用者様を一人ひとりに対して、新しい活動の中で、新しい活面を見ることができたから。
新人の気持ちを忘れず、利用者様の新たな一面を活かせる支援をしていこうと思えます。

変

今年の抱負
利用者さんや行事など、色々なことに変化があった一年だったから。
様々な変化にしっかりと対応し、利用者さんに寄り添った支援を行っていききたいです。

各施設、一年を振り返り漢字一文字で一年間を表してみたい、今年の抱負も聞いてみました！面白い文字が揃いましたのでご覧ください。

けいよう

とらのこキッズ

笑

今年の抱負
今年に限らず、笑顔が絶えない職場で一年間、職員もお子さんも笑顔いっぱいでしたから。
来年度も、笑顔いっぱい楽しく過ごせたらと思います！

始

今年の抱負
今年度は、施設の建て替えの案が上がり、新たな始まりを迎えたから。
来年度に新しい施設が建て替わる予定です。職員一同、心機一転！頑張りたいと思います。



カメラハウス

さざんかキッズ

改

今年の抱負
建物の改修は無事終わり、新しい元号にもなり、支援を改めて振り返る良い機会になりました。
ご利用者様の心と体の変化を見逃さず、スタッフの支援も改革していきたいです。

のまる

風

今年の抱負
今年のさざんかキッズには新しい風が吹きました。職員の新体制や面談の行い方、行事の取り組み方法など、様々な風でした。
来年も引き続き子ども達の皆さんの笑顔の為に、良い風を吹かせていきたいです。



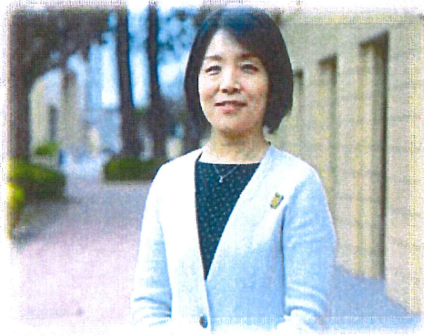
後援会だより

さざんか会後援会主催講演会報告

のまる管理者：泉一成

令和元年11月27日（木）午前10時30分から、さざんかキッズを会場に恒例のさざんか会後援会主催による「親から親への伝え合い」をサブテーマにしている講演会が開かれました。

今年の講師は、淑徳大学准教授「池畑美恵子先生」です。テーマは、子どもの発達理解と行動の見



講師の池畑美恵子先生

方・見え方でした。会場には、さざんかキッズやとらのこキッズの保護者の方や市内の児童発達支援にかかわる事業所職員と保護者をはじめ45名ほどが出席しました。

この日も今年で5回目を迎えます。池畑先生には、さざんかキッズやとらのこキッズの巡回相談を行っていただき、職員へのアドバイスを定期的に行っていただいています。

さて、今年のテーマに話を戻せば、児童施設に勤務していたころ、松戸クリニックの丸山博医師に「子どもの行動の理解」がなっていないと指摘を受けたことがあり、子どもの成長は、らせん形状だといわれ、頭の中は「？」でした。何を言っているのか、と当時の混乱していた頭の中のこと

が思い起こされました。池畑先生も同じようにらせん型発達曲線のことを説明されていました。大人は、すぐに結果が出ないと焦ってしまう、他の子どもと比べ成長が心配だと判断し過度に比較してしまう。本来ならできることを大切にしながら、できることを増やしていくことでゆっくりとゆっくりと成長していくものだと改めて思いました。スマールステップでできることを時間をかけて増やしていくことで成長していくことを思い起こさせてくれました。

親から親への伝え合いとして始まった「さざんか会後援会」による講演会で気づかされること、がたくさんあります。その中で、いま私が思うことは、船橋が63万人規模でありながら、発達障害者支援センターが必要ではないかということ。幼児期は、児童発達支援センターや療育相談機関、学齢期は総合教育センター、学校を卒業すると計画相談事業所はじめ相談機関とライフステージごとに相談支援機関が分断されています。そうではなくて、

ライフステージを丸ごと支える相談支援の窓口があったらいいなと思っています。柏市には、自閉症スペクトラムを支援する社会福祉法人青葉会があります。

船橋市においても青葉会同様発達障害者のライフステージを丸ごと支える支援センターをさざんか会が目指す時期にあるのではないかと考えております。

令和2年のさざんか会後援会主催の講演会について皆様からご意見をいただければ幸いです。

市政功労表彰

船橋市手をつなぐ育成会および当法人より、令和元年度船橋市市政功労表彰を受けられました。

後藤忠男氏（社会福祉分野）

石井博氏（行政委員分野）

宮代隆治理事長（行政委員分野）

※市政功労表彰とは

船橋市表彰条例に基づき、市政の振興、公共の福祉増進などに功労のあった人、または、市民の模範となつた人を表彰しています。（船橋市HPより）